



YOKOHAMA ASAHI ROTARY CLUB WEEKLY

世界へのプレゼントになろう

「世界へのプレゼントになろう」 Be a gift to the world

2015-16年度 RI会長/K.R.“ラビ”ラビンドラン RI/D2590ガバナー/箕田 敏彦 横浜旭RC会長/新川 尚

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-2 後藤ビル2F

TEL.045-365-3273

FAX.045-365-3132

Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

〒241-0821

例会場 二俣川相鉄ライフ4Fコミュニティサロン

例会日 毎週水曜日/12時30分～1時30分



2016年6月22日 第2248回例会 VOL. 47 No. 46

- 司 会 SAA 二宮麻理子
- 開会点鐘 会 長 新川 尚
- 斉 唱 それでこそロータリー
- SL 滝澤 亮

■出席報告

会 員 数	31 名	本日の出席数	24 名
本日の出席率	100%	修正出席率	100%

■会長報告

皆様こんにちは、今年度も今日を含めて残り2回となりました。先週の例会で、高校生の被災地体験プロジェクトの報告を聞き、ガバナー補佐交代のご挨拶を聞いてから、まだ早いとは分かっていますが、解放感がハンパないです。残りの期間、気を引き締め直していきたいと思います。

次回の例会は時間が変更となっております。18時点鐘の夜間例会です。お間違えの無いよう宜しくお願いします。

■幹事報告

次週は最終例会となります。午後4時から倉庫の移転作業を行います。多くの会員の参加をお願いします。例会場前集合です。

7月から例会場が変更となります。

新例会場 榎岡田屋3階会議室

旭区二俣川1-45-30

■広報委員会 鈴木 茂之

今年度の広報委員会での事業計画にのっとり5月度グループ討議した内容を報告します。委員は、福村、太田、漆原、鈴木の名です。テーマは、5月は青少年に対するクラブの活

動について

1) 当クラブは1月初旬に旭区地区の高校生を募りチャリティーコンサートを主催している。会を重ねる中でかなり根づいており、多数高校が参加している。大変意義のある活動であると考えているので継続した活動を進めていきたいと考える。

2) 10月に県立旭高校へ出向き、職業講座ということで、ロータリー各会員の職業について講話をしている。これも大変意義のあるものと、当クラブでは思っている。

但し、今年度、学校都合により開催が中止となり、次回以降実施できるよう学校側と打ち合わせしたいと考えている。

今年度、私が職業奉仕委員長だったので、恒例行事として、学校側と打ち合わせさせてもらっていたが、学校都合で中止のため、代替え案をもっていきましたが、私の印象では前向きではありませんでした。

この件につきましては、今回の委員の方で学校側と親しい方がいますので話をしていたくことにしました。

3) 昨今、貧困家庭が増加しているとのことで、子供を育て方に問題のある親が増えていることより、食事を満足に与えられていない子供がいるとのことを聞いております。この問題につきましても、当クラブで問題提起をしていきたいとの話がありました。

■雑誌委員会

鈴木 茂之

6月号のロータリーの友の雑誌の紹介をいたします。

五十嵐さんが、「100冊の週刊誌より一冊のロータリーの友」を読まれた方がいいと繰り返し言っておられますが、なかなか、このような機会をいただかないと読みませんので、今回、じっくり読させていただきましたので、みなさんに6月号の雑誌の紹介をいたします。

大変ボリュームがありますので、私の中で一位から三位までランキングをつけさせてもらいましたので発表します。

○まずはランキング3位

京都大学 IPS 細胞研究所 所長であり、教授の山中伸弥さんの記事。(縦組 P4) 山中教授は私より年が2歳若いことにきがつきましたが、このかたは、お父さんが怪我をした輸血のせいでC型肝炎から肝硬変へと悪化していったという経緯もあり医学に興味をもつようになり、研究者を志ということで、現在、IPS細胞を使った再生医療では、世界のトップを走っている。大変気の長い研究であり、莫大な研究費用も国からの支援もされていて、当ロータリークラブも支援協力している議事がありますので読んでみてください。

○そしてランキング2位は、(横組 P11)

同じ名称をもつクラブ同士の交流ということで、川クラブ友好の集い、京都桂川 RC ですが、川の保全活動に関心があるクラブ6クラブが賛同し川のかかわりで親睦を図り、友好の輪を広げているとの記事で、私は京都が好きでして、このところ両親をつれて観光しますが、おいしい料理をみつけましたので、次回ご紹介したいとおもいます。また、京都との RC との食事をおかねての交流をもてればいいですね。

○今回のランキング1位 (横組 P22)

福山北 RC 田中さんの記事

4月16日に熊本県中心から阿蘇にかけて地震がありました。即刻、奉仕プロジェクト委員会で相談し、被災している方々に支援活動をしたとの記事がありました。

実は、私の息子で二男がこの4月に東海大の農学部に入學しました。熊本の南阿蘇のキャンパスに通うことになり近隣の下宿所生活をしておりました。入學し二週間後に震災にまきこまれ、命かながら逃げ出しまして、幸いのこと無事に帰ってきましたが、同じ学部の学生3人がこの本震で亡くなりました。この雑誌の写真にありますように、益城町や南阿蘇の住宅においては、ほぼ全壊している状況です。ようやく、この7月より学校が再開しますが、南阿蘇のキャンパスでは当分見合わせるということで、熊本市内にも経営学部と工

学部とあるものですから、そこに通うことになります。先週、私も息子と南阿蘇の下宿先の様子と、市内にアパートを探しにいつてきました。その時の印象ですが、熊本市内は普段通りの生活ができていて少し安心しましたが、南阿蘇の町については、避難所生活を強いられている状況でした。この紙面をみまして改めてロータリーの皆様に感謝したいと思います。

○最後に (縦組 P23)

俳壇で当クラブ吉原さんの一句が投稿されておりますので、ご紹介します。

「マイナスの金利に笑顔空筆筒」

マイナス金利でも関係ないです、筆筒の中はお金が空だからという解釈でよろしいでしょうか。以上、6月号の紹介を終わります。

■臨時理事会の報告

北澤 正浩

日時 6/15(水) 例会終了後

1) 誕生日、皆出席の記念品について

ミスタードーナツ券にするか→

会長幹事で検討 新年度開始

2) ロータリー文庫より、当クラブのロータリー情報と卓話選集をロータリー文庫ホームページで公開させてほしいとの依頼がありました。→

古い資料なので公開が可能かどうか確認して返答する。

■ニコニコ BOX(会員敬称略)

新川 尚/一年間ありがとうございました。
市川 慎二/一年間、皆様には大変お世話になりました。もう一年幹事の勉強をしたい所ですが、北澤さんに泣く泣く引き継ぎます！有難うございました。

吉原 則光/①今日22日は重忠喜忌にあたります。馬鈴薯の花など曇れ重忠忌(惣之助)の句が思い出されます。②本日最終の卓話新川会長、市川幹事さん、拝聴させていただきます。

安藤 公一/新川会長、市川幹事、一年間お疲れ様でした。

齋藤 善孝/新川会長、市川幹事、一年間お疲れ様でした。

漆原恵利子/新川会長、市川幹事お疲れ様でした。残りあと一回。よろしく願います。私もまたあと一回です。

佐藤 真吾/新川会長市川幹事、一年間お疲れ様でした。あと二回でゴールです。この一年を振り返っての卓話よろしく願います。

北澤 正浩/新川会長、市川幹事一年間お疲れ様でした。市川さん、もう一年間幹事やりませんか？

■卓話 この一年を振り返って

○幹事 市川 慎二

この一年間、幹事という大役を仰せつかり、私なりに一生懸命に努めて参りました。なんとか、無事に任期を終え、大任を果たした気持ちと共に、新川会長をはじめ、理事の皆様、各委員長の皆様、そして、各会員の皆様に、温かいご指導とご鞭撻を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

この任期を通じ、ロータリーに関する様々な情報が寄せられ、目を通したり、調べたりしていく中で、とてもロータリーの理解が広がったと感じました。

また、幹事ならではの会議やパーティー、メーカーなどで、本当に多くのロータリアンの方にお会いする機会に恵まれ、それ以外にも色々な出会いがありました。始めは挨拶だけの方が、一度、二度とお会いする中で、会話が弾むようになっていたり、ロータリーについての教を頂いたり、とても嬉しく、また勉強になりました。本当にロータリークラブに入会させて頂いたことに感謝しています。

新川会長に、おんぶにだっこ、頼りっぱなしの一年ではありましたが、本当に幹事に任命してもらい、良かったと思っております。

これも未熟な私に、期待をかけてくださり、更なる勉強と成長の機会を頂いたものと改めて皆様に感謝致しております。

今年度は、新川会長の指示のもと、早い時期から理事会を重ね、出来る限り、慎重に事を運べたと感じております。月替わりでの食事の変更や、区民まつり、チャリティーコンサートを通じて、被災地高校生と地元高校生の交流会、また、地元高校生の被災地見学、親睦委員会の開催企画など、無事に終わりました。

とはいえ、安藤達雄さんの入院や、歴史ある商大高校インターアクトの終結、当クラブからの退会者があることなど、良い事ばかりではありませんでしたが、当クラブ一番の課題でもありました例会場の変更を、増田年度より引継ぎ、理事会などで検討を重ね、無事に新しい例会場を決定することができました。岡田さんには、ご協力ご理解を頂き、心より御礼申し上げます。



これにより次年度では、予算にゆとりが生まれると思いますし、会費の値下げや、新しい活動、親睦が出てくると思います。そして新しい例会場という素晴らしい雰囲気の中で、この横浜旭ロータリークラブが、ますます活性化し、より充実した奉仕活動や充実した親睦からも会員増強にも繋がり、より一層強いクラブになると確信して引き継ぐことができます。

最後になりますが、一年間、大変にご心配ご迷惑をお掛けしたかと思いますが、私にとって、この一年間の経験は、とても貴重な財産になりました。

本当にありがとうございました。

○会長 新川 尚

この一年を振り返るにあたって、まずは会員の皆様にご理解、ご協力、ご支援をいただきましたことを厚く御礼申し上げます。私のような未熟者がクラブ会長としてなんとか一年間過ごす事が出来たのは、皆様のおかげと感謝申し上げます。ありがとうございました。ご不安、ご迷惑をお掛けしたとは思いますが、ロータリーの寛容の精神でご容赦頂きたいと思っております。

年度始めの会長挨拶で、今年度のクラブ方針を「親睦とロータリーの理解」と申し上げました。「信頼できる友人の集まりとしてのロータリー」という原点を今一度見直すことで、楽しいクラブ、活気あるクラブとしたいと考え、その為にはあらゆる機会を親睦の機会と捉え、会員間を密にすることが重要であると考えました。「川崎競馬ナイター観戦」や、「食を通じた国際交流」などが行われましたが、全体として新たな親睦活動を増やすことはできませんでした。これは年間行事としてすでに盛り沢山の内容があるため、増やす余地がなかったのではないかと思います。しかし、あらゆる機会を親睦の機会と捉えることはある程度できたのではないかと思います。この方針に沿って研修・広報委員会には小グループでの研究、発表を企画、実施していただきました。これはミニ情報集会とも言える企画で、まさに今年度の方針を体現した活動だと思います。また、あさひ区民まつりや、チャリティーコンサートなどの奉仕活動に多くの



会員に参加していただき、親睦を深めることができたと思います。

今年度は、私の我儘ですが、やりたいことが2つありました。一つはチャリティーコンサートに被災地の高校生に出演してもらうことです。チャリティーコンサートは東日本大震災復興支援ということで始まり、また、青少年奉仕や地域社会の活性化も含んだ形で開催してきました。5回目というひとつの節目で被災地の高校生と交流を持つことは非常に大きな意義があると考えました。震災の記憶の風化が進む中で、地域間の交流を通じて、また、同世代の体験を聞くことによって記憶を新たにし、風化を防ぐことができたと思います。辛い記憶だけでなく、チャリティーコンサートを一緒に作り上げたという楽しい思い出と共に記憶することで長く心に留まり、高校生達のこれからの人生にきっと役立つと確信しています。

もう一つは高校生被災地体験プロジェクトです。これは以前、岩沼ロータリークラブとの親睦旅行に私の娘を連れていったときから考えていたものです。私自身、震災後初めて現地を訪れた時に非常なショックを受け、色々なことが頭の中でグルグル回り、言葉が出なくなりました。娘達も同じだったようで、旅行後、何度も被災地の話をしました。上の娘は考え方がだいぶ変わったと言って、事実、エスカレーター式に進学出来る学校から外部へ受験しました。やはり、若い世代は感じ取るものが大きいと改めて感じ、是非多くの高校生に体験してもらいたいと思いました。当初は岩沼でチャリティーコンサートが出来ないかと打診しましたが、岩沼ロータリークラブの会員がチャリティーコンサートがどういふものかわからなかったため、一足飛びにやらず、高校生に被災地を体験してもらうことにしました。間もなく参加して生徒達の感想文がまとまりますので、是非ご覧いただきたいと思います。また、この二つのプロジェクトに多大なご協力をいただきました岩沼ロータリークラブの田中会長をはじめ、会員の皆様に深く感謝申し上げます。

また今年度はクラブにとって大変重要な決定を2つさせていただきました。

一つは商大高校インターアクトクラブ提唱撤回です。ご存知の通り、商大高校インターアクトクラブは旭ロータリーよりも歴史の古

いクラブです。その脈々と受け継がれてきた歴史をここで止めてしまっても良いのか随分と悩みました。個人的にも2003年にロータリークラブへ入会してから半年後にはインターアクト委員長を仰せつかりました。これは当時の委員長だった小沢さんの退会に伴うものでしたが、以来、幾度となく青少年奉仕委員長を務めさせていただきました。高校生が奉仕というものに真摯に向き合い活動している様子を見ると手を貸してやりたくになりました。しかし、段々と学校側の態度や熱といったものが変わっていき、特に松本良彦理事長が引退した後はあからさまに協力体制が取られなくなってしまいました。現理事長と何度か話し合いの場を設けて打開の道を探る一方で、理事会、クラブ協議会、例会で協議を重ねてきましたが、現理事長との話し合いの中で、もう信頼関係がなくなっているとはっきりと確認できましたので、決断いたしました。しかしながら、商大高校との関係が失われたのではなく、青少年奉仕がなくなったわけでもありません。いつか時期、機会が巡ってきて、再びインターアクトクラブを提唱できることを願っております。

もう一つの決定は例会場の変更です。クラブの財政再建をする上で例会費の見直しは避けて通れません。いくつかの例会場候補を見学して回り、例会場変更体験例会も実施し、協議をしてきました。私自身、入会してからずっと例会場は二俣川コミュニティサロンでしたので、いわばホームグラウンドのような親しみを持っています。変更についてはだいぶためらう気持ちもあるのですが、背に腹は代えられないということで、決定させていただきました。しかし、例会場の変更は過去に何度もあり、ベテランの会員さんは案外瓢々としておられるのを見ると、私が思うよりもたいしたことないのかもしれない。

最後になりますが、この一年間、ほぼやりたいようにやらせていただき、ありがとうございました。やり残したことがないとは言いませんが、悔いはありません。これも皆様のご理解、ご協力、暖かい支援の賜物であると重ねて感謝申し上げます。横浜旭ロータリークラブの益々の発展と皆様のご健勝を祈念致しまして退任の挨拶とさせていただきます。

■次週の卓話 7/6(水) 新年度開始

週報担当 漆原恵利子